

短歌

末武 有二 選

ひそやかに瑠璃の小花や犬ふぐりびつしり続
く如月の径 安永 守住 孝子
麗らかなヒバリの声は麦畑移ろう里になにを
思わん 馬水 倉本研一郎
ふるさとの味恋しとや便りきて思い馳せるは
空風の街 木山 赤城 香織
氷雨降る中の工事に立つ人は吾より上かとふ
と思いきり 木山 本田 龍子
水鳥の声立つままに草を喰み湖面を泳ぐダン
スのごとく 広崎 日野ヒロ子
喜寿傘寿迎えし人の賀状には来年よりは「欠
礼」ごあり 惣領 垣野 幸一
頑張れと我を励ます毎日辛さ募りぬ老々介
護 惣領 島田 廣子
寒さ耐え咲きし梅花の一輪を春告げたくて遺
影のあなたへ 広崎 大原 郁
春近し今日は米寿の誕生日歩みは遅しされど
笑顔で 惣領 新居 露子
朝刊の記事を挟みし日記帳広報ましき県広報
賞 町広報係愛好会
ハンドルを握る楽しさまだいけるかじかむ手
にも力こもりぬ 馬水 増田 訓子

俳句・川柳

植木市いも天分ける雪ちらり
暖かや掃除終りて湯呑み手に
春の風めげずと生きる梅二輪
冬晴れや自転車漕ぐ孫ほほ紅し
早朝の面撃つ声や寒稽古
地鎮めの神事の跡や霜深し
気になるね残高の命笑う友
木枯しが吹雪を誘う冬の街
雪が舞う祖母を気づかう孫娘
犬友の立ち話を春隣
腹八分残したお茶で葉のむ
郵便の値上げに投句躊躇あり
光さす本命チョコを包む手に

安永 福山 友子
木山 鎌田 隆子
惣領 野々口トミ子
木山 本田 龍子
惣領 野宮 逸吉
熊本市 境 眞木子
馬水 増田 訓子
赤井 増岡 伸禧
惣領 阪口由美子
古閑 今村 恒心
宮園 米村 盛子
木山 本田 龍子
安永 福山 友子

4月号から「俳句・川柳」コーナーの選者として、「小春」先生が担当いたします。

投稿は①氏名(ペンネームの場合はふりがなも記入)②住所③電話番号④作品複数点の投稿可)を明記し、メール(mashik890@gmail.com)、はがきなどで役場広報係までお送りください。締め切りは毎月10日(必着)です。

人権
～みんなが
幸せになるために～
益城町人権・同和教育推進協議会

Vol.526

ことばの力を感じよう
～小中学生の人権標語～

《入選》

- ・こえかけて みんなとなかよく なりたいな(小1)
- ・どうしたの ないているとき ささえよう(小2)
- ・ありがとう あったか言葉 つながるね(小3)
- ・画面より 見るべきものは 目と心(小4)
- ・大丈夫！ ぼくはぜったいに 君の味方(小4)
- ・言ってみよう 自分の思いも 大切に(小5)
- ・その言葉 相手のことを考えた？(小5)
- ・認め合う 少しずつ 一人一人わかるまで(小6)
- ・正しいと 思ったことを 大切に(小6)
- ・知らぬふり 理由を並べた 差別心(中1)
- ・合わせなくてもいいんじゃない？ あなたの個性を大切に！(中2)
- ・仲間への 差し伸べる手は 自分から(中2)
- ・画面の奥 あなたと同じ 人がいる(中3)
- ・比較しない 私の個性は 私だけ(中3)

《特選》

- ・「いつもありがとう。」って いってくれて ありがとう(小1)
- ・ふわふわことばをつかったら 友だちみんな 良い気持ち(小2)
- ・相手の気持ちと自分の気持ち どっちも合わせて 楽しい気持ち(小3)
- ・ちがいが知る そこから始まる 理解の輪(中1)

人権についての電話による相談窓口（平日のみ）

●同和問題をはじめとするさまざまな人権問題

熊本県人権センター ☎ 384-5822
午前9時～正午と午後1時～4時

●障がい者の人権および権利擁護

障がい者 110 番 ☎ 354-4110 午後1時～5時

●法律問題、人権問題、人権侵害への救済について

みんなの人権 110 番 ☎ 0570-003-110
午前8時30分～午後5時15分

以下全て午前8時30分～午後5時15分

●女性の人権

女性の人権ホットライン ☎ 0570-070-810

●子どもの人権

子どもの人権 110 番 ☎ 0120-007-110

●いじめについて

益城町いじめ電話相談 ☎ 286-1770

●さまざまな人権問題

益城町福祉課人権対策係 ☎ 289-1400



西南戦争で使用された脇差



青年学校で使用された模造銃

去を知ることの重要性を学びました。歴史の証人である貴重な文化財の数々は、皆さまの目に触れる機会を待っています。

長年連載を続けてきたこのコーナーは今月号で終了します。しかしながら、地域の皆さまに守られてきた神社仏閣や伝統行事などが、今後も大切にされ、後世に語り継がれることを心から願っています。

益城町文化財保護委員会

町にも多くの文化財があります。特に熊本地震後に発掘された出土品、レスキューされた民俗資料、美術品などは、現在、町が収蔵しています(左の写真)。

地震から9年が経過し、町の復興が進み、大きく変化し続けています。しかし、これらの文化財は、展示される機会もないまま眠ったままです。未曾有の災害を経験した私たちは、先人たちの知恵や過

益城町を歩くと、お堂や石碑が目に残ります。これらは、数十年、数百年にわたりその地に存在し続けてきた貴重な文化財です。

文化財は多岐にわたります。神仏や石碑、祭りなど地域全体で守られてきたもの、古文書や古民家など個人で保護されてきたもの、巨木などの自然遺産、発掘された出土品など、形態はさまざまです。

益城の文化財
町文化財保護委員会



最終回

益城町の
文化財